

報告番号 15号
令和8年2月17日

根室市議会議長 遠藤輝宣 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	企業誘致
期間	令和8年1月24日（土）
参加者氏名	壺田重夫
応対者	GRjapan 小川義人
場所	〒108-8611 東京都港区高輪 4-10-30 品川プリンスホテル（カフェ）
行程（概要）	瑠璃瑠⇒中標津空港⇒羽田空港⇒南馬込⇒品川プリンスホテル⇒南馬込⇒羽田空港⇒中標津空港⇒瑠璃瑠
内容・成果等	令和8年1月24日 19:00～20:00 根室市のため考察、企業誘致の条件などを詳しく説明頂きました。

報告番号 14号
令和8年 1月26日

根室市議会議長 遠藤輝宣 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	北方領土返還要求中央アピール行動
期間	令和7年12月1日（月）
参加者氏名	壺田重夫
応対者	北隣協会長 石垣雅敏根室市長 内閣府大臣、元島民、来賓32名含む500人
場所	銀座ブロッサム中央会館～常盤橋公園
行程（概要）	根室→中標津空港→羽田空港→南馬込→中央区銀座→常盤公園→南馬込→羽田空港→中標津空港→根室
内容・成果等	10:30より出発式、行進は、京橋公園前から常盤橋公園。 「北方領土を返せ」「北方領土交渉を再開しよう」などとコールしながら約2km行進致しました。

報告番号 13号
令和7年12月17日

根室市議会議長 遠藤輝宣様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	AIとIOTによる地域ウェルビーイング
期間	令和7年11月14日（金）
参加者氏名	壺田重夫、慶應義塾全国議員連盟会員
応対者	慶應義塾大学環境情報学部教授 中澤仁様
場所	〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学三田キャンパス南館 F4
行程（概要）	衆議院会館 → 慶應義塾大学
内容・成果等	15:30～14:45 地域課題解決のためのAI・IOT活用戦略 地域ウェルビーイングの実現についての講義をお聞きしました。

報告番号 12号
令和7年12月17日

根室市議会議長 遠藤輝宣様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	ウェルビーイングの視点から見た福澤諭吉
期間	令和7年11月14日（金）
参加者氏名	壺田重夫、慶應義塾全国議員連盟会員
応対者	慶應義塾福澤研究センター准教授都 倉武之 様
場所	〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学三田キャンパス南館 F4
行程（概要）	衆議院会館→慶應義塾大学
内容・成果等	14:15～15:15 変化の激しい現代社会で、いかにしてじぶんらしく、健やかに、他者と共に生きるかという現代のウェルビーイングについての講演をお聞きしました。

報告番号 11号
令和7年12月17日

根室市議会議長 遠藤輝宣 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	トランプ関税の地方経済への影響と国の対応
期間	令和7年11月14日（金）～ 令和7年11月14日（金）
参加者氏名	壺田重夫、慶應義塾全国議員連盟会員
応対者	衆議院議員 高松智之様 秘書 長永和代様 消防庁総務課理事官 畑中雄貴様 大臣官房会計課課長補佐 赤坂貴幸様 総務省自治財政局財政課課長補佐 村田直也様 経済産業省総務課課長補佐 長谷川亘様 大臣官房会計課第一 宮下克彦様 第二 西協陽平様 第三 本庄智之様
場所	〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館
行程（概要）	永田町→慶應義塾三田キャンパス
内容・成果等	10:00～11:30 トランプ関税について日本と地域などへの影響を及ぼすのかという事のお話をお聞きしました。

報告番号 10号
令和8年12月17日

根室市議会議長 遠藤輝宣 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	官民連携（香取市）
期間	令和7年11月13日（木）～ 令和7年11月13日（木）
参加者氏名	壺田重夫
応対者	香取市長 伊藤友則 様 香取市議会事務局長 高岡洋一様 〃 次長 鈴木典子様 香取市議会 議長 久保木清司様 商工観光課長 伊藤格文様 商工観光課商工企業誘致班長 長嶋正規様 〃 副主幹 櫻井秀憲様
場所	香取市役所 （香取市佐原口 2127）
行程（概要）	香取市⇒四街道市
内容・成果等	11月13日 木曜日 9：30～11：30 道の駅・川の駅の郷さわらにおける取り組みについて。 11：30～12：15 市長等と意見交換

報告番号 9号
令和8年12月17日

根室市議会議長 遠藤輝宣 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	官民連携
期間	令和7年11月12日（水）～令和7年11月14日（金）
参加者氏名	壺田重夫
応対者	銚子市長 越川信一 様 銚子市秘書広聴課課長 垣沼孝一 様
場所	銚子市役所 ⇒ 銚子市内
行程（概要）	東京⇒銚子⇒香取市⇒東京
内容・成果等	11月12日 水曜日 地域資源を活かす・産業観光(銚子編) 13:50～14:30 洋上風力発電視察 15:00～15:50 ヤマサ醤油工場見学 16:05～16:23 銚子電鉄乗車

報告番号 8号
令和 7年12月12日

根室市議会議長 遠藤輝宣様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	北方領土返還要求中央アピール行動参加
期間	令和7年11月30日（日）～ 令和7年12月2日（火）
参加者氏名	本田俊治
応対者	主催：北方領土隣接地域振興対策根室管内連絡協議会 会長 根室市長 石垣雅敏
場所	出発式：銀座ブロッサム中央会館（東京都中央区銀座2-15-6） 行進：京橋公園前から東京駅前経由常盤橋公園まで 約2Km 北方領土展示：新宿駅西口イベント広場
工程（概要）	11/30 根室中標津空港→羽田空港→宿泊（中央区新富町） 12/1 アピール行動参加・北方領土展視察→宿泊（中央区新富町） 12/2 羽田空港 → 根室中標津空港
内容・成果等	○北方領土返還要求中央アピール行動 本年度で18回目となる本事業に参加。 1945年12月1日、安藤石典根室町長が連合軍最高司令官マッカーサー元帥に対し、北方領土の返還を求める陳情書を提出。この歴史的に重要な12月1日を「北方領土返還要求運動のはじまりの日」として、日本の中心である東京において、北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的としてスタートした事業です。戦後80年の節目の年でもあり、北方領土の返還に対する強い思いをもって、都内を行進しました。

行進中、毎年、北方領土問題に対する関心の薄さを痛切に感じております。今年は、出発式を行っていた日比谷音楽堂が改装中ということもあり、行進コースが変更となり、人通りがほとんどない場所もあり、また、シュプレヒコールを先導するアナウンスも録音となり、迫りに欠ける等寂しい面もありました。参加する度に、北方領土問題に対する我々との温度差を感じておりますが、返還運動原点のまちとして、粘り強く、行動を続けなければなりません。

課題整理も含め、議会としても改善に努め、返還運動の輪を広げる活動を続けたいと思います。

○北方領土展（新宿駅西ロイイベント広場）

アピール行動の後、新宿駅西ロイイベント広場で開催されている、北方領土展と根室管内物産展会場を視察。

会場では、島民二世である三遊亭金八氏のトークイベント、今年度からの新しい取組である、根室高校北方領土根室研究会の生徒による出前講座が行われており、両啓発事業に参加しました。

三遊亭金八氏のお話、北方領土ビンゴなども、様々な視点から北方四島の話題をちりばめたトークは素晴らしく、我々も、知識を深め、伝える役割を担わなければならないと感じました。

また、今年度の新規事業である根室高校北方領土根室研究会の生徒による出前講座もクイズ形式で北方四島に関する知識を深めるアプローチ、そして、返還運動原点の地の三世、四世代の皆さんが、返還運動を伝える活動は非常に重要だと感じました。講師を務めた生徒の一人は、来年4月から市役所に就職するそうです。返還運動後継者としての活躍を期待したいと思いますし、楽しみです。

返還運動は、伝える取り組みであり、「知ること」、「考えること」、そして「伝えること」この輪を広げ続ける活動だと思っております。自らも、この活動を粘り強く続けていきたいと、想いを、確認する事業でもありました





報告番号 7号
令和7年12月12日

根室市議会議長 遠藤輝宣 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	慶應義塾全国議員連盟研修会開催の為の会議
期間	令和7年10月6日（月）
参加者氏名	壺田重夫
応対者	案内説明慶應塾員センター 中里史朗 様
場所	東京都港区三田慶應義塾大学
行程（概要）	根室市瑛瑠瑯⇒中標津空港⇒羽田空港⇒南馬込5丁目⇒港区三田⇒南馬込5丁目⇒羽田空港⇒中標津空港⇒根室市瑛瑠瑯
内容・成果等	11:00～～12:30 11月に開催慶應義塾全国議員連盟研修会の為の下見と、スケジュール打合せ会場設定等の会議で訪問致しました。

報告番号 6 号
令和7年7月31日

根室市議会議長 田塚不二男 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	震災害液状化現象
期間	令和7年6月25日（水）～令和7年6月25日（水）
参加者氏名	壺田重夫
応対者 （講師等）	浦安市議会議員 柳毅一郎 様
場所	浦安市役所
行程（概要）	東京⇒千葉県浦安市⇒東京
内容・成果等	14：00～16：00 災害対策の一環として調査、思いもよらない液状化現象についてのお話をお聞きし、詳しい資料や、後世に残す為に作られた、本を頂きました。 〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目1番1号 浦安市役所



液状化現象による飛び出したマンホール



液状化現象による倒れたガードレール

報告番号 5 号
令和7年5月30日

根室市議会議長 田塚不二男 様

政務活動報告書（会派用）

会 派 名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

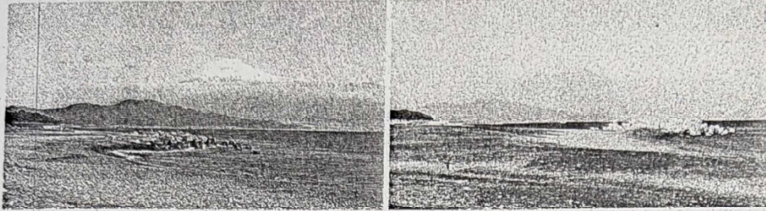
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	産業観光のあり方と効果に対する視察
期 間	令和 7年 4月 5日（土） ～ 令和 7年 4月 5日（土）
参 加 者 氏 名	壺田 重夫
応 対 者	土木研究センターなぎさ総合研究所 所長 宇多 高明 様
場 所	三保の松原海岸
行 程（概 要）	お茶の都ミュージアム ⇒ 三保の松原海岸
内 容 ・ 成 果 等	4月5日（土）14：00～16：00 海岸保全への取り組み。 清水から三保の松原へかけてのテトラ整備成功例の視察。

三保松原 半世紀続く砂浜復元

消波堤「望ましくない」イコモスの指摘転機に

県、砂の人工補充と突堤作り

「羽衣伝説」で有名な三保松原（清水海岸）で、半世紀にわたる砂浜の復元と保全の工事が続いている。転機は2013年の富士山の世界文化遺産登録。三保松原は構成資産のひとつだが、波から砂浜を守るための消波ブロック（消波堤）が「美しい観点から望ましくない」とユネスコの諮問機関の国際記念物遺跡会議（イコモス）に指摘され、県が「撤去」の方針を決めたためだ。



好天に恵まれた20日の春分の日。三保松原周辺は、外国人観光客を中心に大ににぎわっていた。羽衣の松付近から、砂浜に降りる。波打ち際近くまで少し歩くと、雄大な富士山の姿が広がり、観光客から歓声があがってきた。「砂浜を波に削られないようにするため」と説明すると「それなら仕方ないでしょう」と話した。



約9・8kmある清水海岸には、三保松原付近から半島の先端にある旧三保飛行場手前まで約2kmに4カ所、消波ブロックを積んだ消波堤がある。これがイコモスから「望ましくない」とされた。地図参照。県は13年に有識者による委員会を作り、よりよい景観を作りながら砂浜

を守るため二つの対策を決めた。ひとつは、海岸の砂を人工的に補充して砂浜を確保する「養浜」工事を続けること。もうひとつが、消波ブロックに替えて、水平線と平行になる突堤を海岸近くに作り、効果が出たら消波ブロックを撤去する工事。突堤は海面から1メートル程度出るくらいで目立たなくする計画だ。

県は15年度から、羽衣の松に近い2カ所を景観的に問題があるとして、優先的に撤去を目指す工事を始めた。代替の最初の突堤は19年に完成。その後、もっとも羽衣の松

に近い消波堤に積まれた推定467個のブロックのうち、上部に置かれた27個のブロックを撤去した。その後も突堤が効果を発揮していることなどが確認できたため、20年にさらにブロック45個を撤去した。消波堤は低くなり、視界を大きくさえぎらない程度に眺望を確保した。

最終的には全てのブロック撤去を目指したいが、砂に埋まっているものもあり、経費がかさんで難しいという。「モニタリングで景観を確認しながら、必要な対応をしていく」という方針だ。

回復にはあと20年 台風で計画変更も

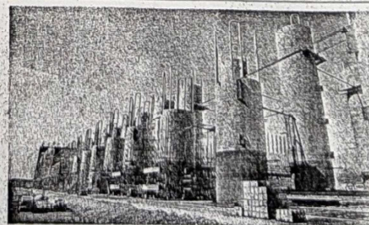
もともと三保半島は、安倍川から流れ出た土砂が沿岸流で運ばれて積み重なってきた。ところが、1950年代と60年代に安倍川で土砂採取が大量に行われたため、波が海岸を削られ、浜がやせ始めた。三保松原周辺の砂浜も対策をとらないと消えてしまうといわ

れ、県が消波ブロックを置いて経緯がある。現在は、波を防ぐ設備が整備され、計画的に川砂や半島に流れ着いた砂を海岸に補充しており、静岡市側の海岸は砂浜が戻ってきている。12日に清水区内であった専門家や住民などで作る「清水海岸侵食対策検討委員

会」でも、砂浜が順調に回復していることが県から報告された。ただ、県のシミュレーションでは、砂の補充を続けても三保松原まで砂浜が自然回復するには、あと20年近くはかかるという。県は当初、今年度までに代替のもうひとつの突

堤の建設と、羽衣の松に近い2カ所目の消波ブロックの撤去に乗り出す予定だった。しかし、台風の影響で消波堤などが被害を受けたため、計画期間を「部変更。二つの新堤を作る計画になった。今年10月から南側の新堤の設置工事が始まる。来年3月までに終え、その後、2カ所目の消波堤の消波ブロックの一部撤去にとりかかり、もう一つの堤の建設を検討する。海岸線近くの工事は難易度が高く、工事関係者は「今年夏から秋にかけて、大きな台風が来ないことを祈っている」と話す。

新しく設置される堤の脚、隅をコンクリートで固めて堤をつくり、海中の杭に差し込む「清水港袖師第一埠頭

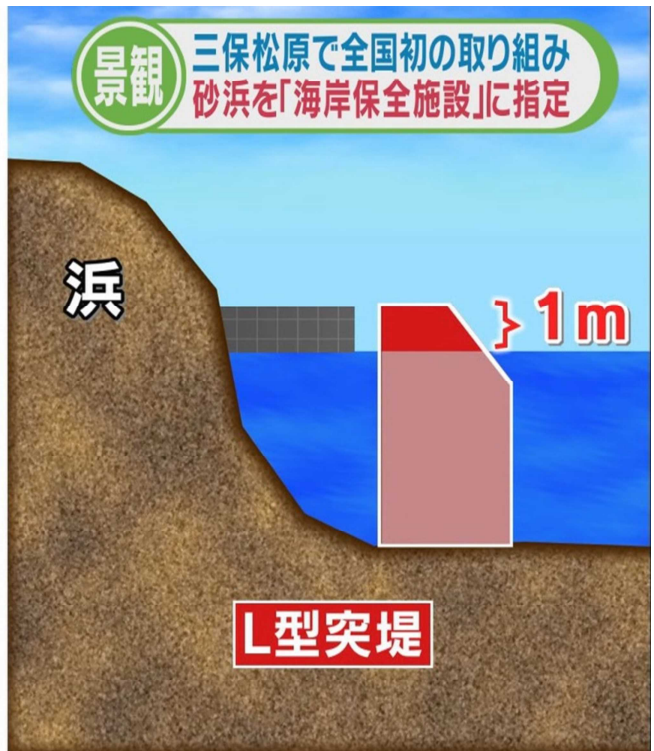
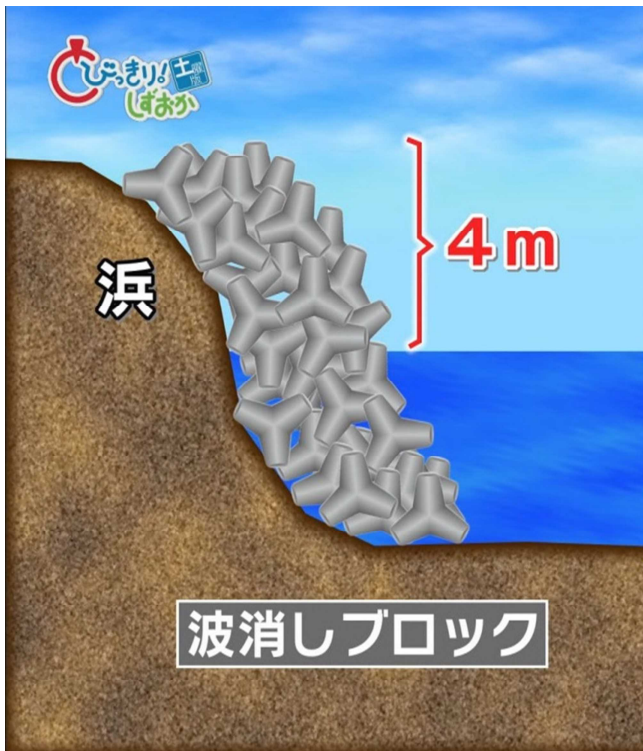


砂浜再生に詳しい一般財団法人土木研究センター・宇多高明さん（清水海岸侵食対策検討委員会の委員）の話。いったん失った砂浜を取り戻すには、非常に長い時間がかかる。清水海岸は全国的に見てもうまくいっているところで、再生のトップランナーといってもいい。海岸や海底の状況は時間とともに変化するので、景観を守るための消波堤の撤去や新しい堤の建設も、状況に応じて柔軟な対応をしていくべきだ。

1989年度に始まった対策事業は2043年度まで続く計画で、全体の事業費も約314億円になる見通しだ。

「景観を守るため柔軟な対応を」

堤の建設と、羽衣の松に近い2カ所目の消波ブロックの撤去に乗り出す予定だった。しかし、台風の影響で消波堤などが被害を受けたため、計画期間を「部変更。二つの新堤を作る計画になった。今年10月から南側の新堤の設置工事が始まる。来年3月までに終え、その後、2カ所目の消波堤の消波ブロックの一部撤去にとりかかり、もう一つの堤の建設を検討する。海岸線近くの工事は難易度が高く、工事関係者は「今年夏から秋にかけて、大きな台風が来ないことを祈っている」と話す。



根室市議会議員 田塚不二男 様

政務活動報告書（会派用）

会 派 名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	観光のあり方と効果に対する視察
期 間	令和 7年 4月 5日（土） ～ 令和 7年 4月 5日（土）
参 加 者 氏 名	壺田 重夫
応 対 者	土木研究センターなぎさ総合研究所 所長 宇多 高明 様
場 所	〒428-0034 静岡県島田市金谷富士見町 3053-2
行 程（概要）	ふじのくに茶の都ミュージアム ⇒ 三保の松原海岸
内 容・成果等	4月5日（土）11：30～12：30 ふじのくに茶の都ミュージアム視察致しました。 お茶の産地静岡県にちなんでの施設 新茶のシーズンなどの各種イベント 体験メニュー、お茶にまつわる食器、色々なお茶飲み比べ、企画 等、物産を立派に産業観光のテーマに育てている。

報告番号 3 号
令和7年5月30日

根室市議会議長 田塚不二男 様

政務活動報告書（会派用）

会 派 名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	産業観光のあり方と効果に対する視察
期 間	令和 7年 4月 5日（土） ～ 令和 7年 4月 5日（土）
参 加 者 氏 名	壺田 重夫
応 対 者	静岡県議会議員 田口章様
場 所	〒431-1209 静岡県浜松市中央区館山寺 195
行 程（概 要）	浜松市中央区増楽町 ⇒ 中沢町 ⇒ 館山寺町
内 容 ・ 成 果 等	4月5日（土）9：00～11：00 優れた気候の恩恵。 物産センターを併置しているが、民間の観光受益者あつての取り組みに関して、視察をいたしました。



はままつ **フラワーパーク** MAP

〒431-1209 静岡県浜松市中央区館山寺町195
TEL/053-487-0511 FAX/053-487-0833

動物園正門
フラワーパーク
浜名湖ゲート

動物園正門
フラワーパーク
浜名湖ゲート

動物園正門
フラワーパーク
浜名湖ゲート

サザナカ並木
ロウバイ園
つり橋
浜松市動物園
原種ツツジ園
八重桜並木
サクラ
ハナショウブ園
キクサクラ

水鳥の池 (ハナハスの池)
テラス池
水辺の広場
中の島
カキツバタの池
アサギ並木
スマイルガーデン
鏡池
こども広場
日本庭園

アジサイ
原種ツツジ
ローズガーデン
クリスタル/カレス (大温室)
森の仲間たち
見晴らしの丘
水戸イート
サクラ
芝生広場

早咲きのサクラ
スロープカー
噴水池
サクラの谷
竹林
花みどり橋
ワELCOMEガーデン
梅園
スライセン
メインエントランス
正面ゲート
第2駐車場

サクラ並木
サクラ
サクラ
サクラ
サクラ

動物園正門
フラワーパーク
浜名湖ゲート

動物園正門
フラワーパーク
浜名湖ゲート

動物園正門
フラワーパーク
浜名湖ゲート

園のあらし
東照ドーム およそ64種分
面積 30万㎡
種数 3,000種
花見期間中 およそ1時間

■ 専用スピーカーの通行はできません。	■ コイのエサ(20円)
■ AED(自動体外式除細動器)	■ 飲料等の販売有無
■ トイレ	■ スロープカー
■ Wi-Fi	■ 授乳室
■ 休憩所	■ エレベーター

1周 約15分

フラワートレイン

フラワートレインコース

- メインエントランス(始点)
- 浜名湖ゲート 動物園正門
- ハナショウブ園 動物園正門
- 芝生広場・こども広場
- クリスタル/カレス(大温室)
- メインエントランス(終点)

利用料金 (1乗車) 子供 50円 大人 100円

※子供料金は3歳以上中学生以下です。
※運行時間は休日により異なります。
※運行エリアは園内を走り回ります。
※時期によりルートを変更する場合がございます。

四季を彩る花々の情報を配信中!

QRコード

Instagram Facebook

動物園正門

動物園正門

動物園正門

ペットを連れてのこ入園はお断りさせていただきます。

園内の植物採取、昆虫の捕獲などは禁止されていますので協力ください。

園内は禁煙です。※所定の場所のみ可

報告番号 2 号
令和7年5月30日

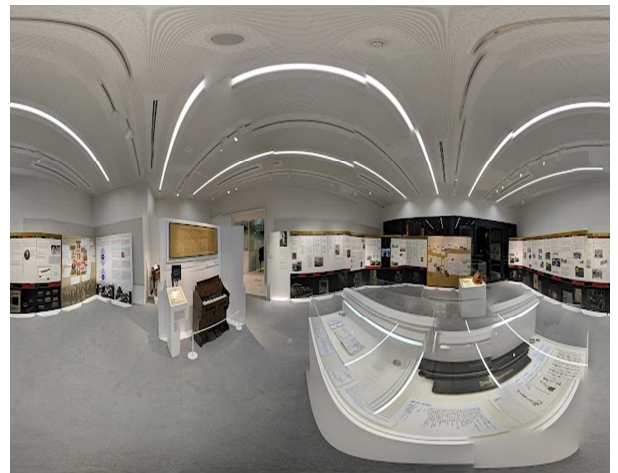
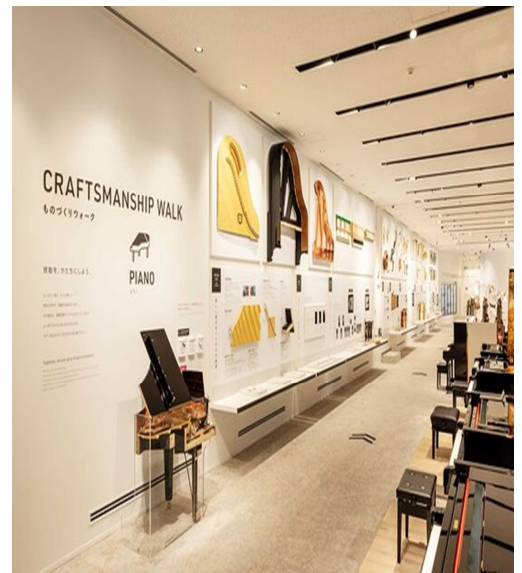
根室市議会議長 田塚不二男様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	産業観光のあり方と効果に対する視察
期間	令和7年4月4日（金）～ 令和7年4月4日（金）
参加者氏名	壺田 重夫
応対者	静岡県議会議員 田口 章 様
場所	静岡県浜松市中央区中沢町 10-1
行程（概要）	スズキ歴史館 ⇒ ヤマハイノベーションロード
内容・成果等	4月4日（金）15:00 ～ 16:00 常に新たな挑戦を重ね、培ってきた技術・ノウハウ。 楽器メーカーとしての歴史の足跡が解る建物を視察いたしました。



報告番号 1 号
令和7年5月30日

根室市議会議長 田塚不二男 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 市民クラブ

代表者名 本田俊治

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	産業観光のあり方と効果に対する視察
期間	令和7年4月4日（金）～令和7年4月4日（金）
参加者氏名	壺田重夫
応対者	静岡県議会議員 田口章様
場所	静岡県浜松市中央区増楽町1301
行程（概要）	浜松市
内容・成果等	4月4日（金）13:00～14:30 スズキ自動車本社、スズキ歴史館 自動車メーカーの歴史と地域の歴史について視察いたしました。

